

駒場

2002



東京大学大学院総合文化研究科  
東京大学教養学部



KOMABA 2002 SUPPLEMENT  
GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

[駒場] 2002  
SUPPLEMENT



表紙に使われているロゴデザインは、平成11年に、教養学部創立50周年を記念して、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の新たなシンボルとして作成された。東京大学の伝統的なシンボルであるイチヨウを3枚重ねることにより、学部前期・後期・大学院の3層にわたる教育の融合と創造、学問の領域を越えて世界に発展する駒場の学問の未来をイメージしている。制作は(株)禅の石塚静夫氏。

#### 表紙について

---

鳥文様の綴織裂。チャンカイ(Chancay)文化の後古典期  
(AD1100年～1400年頃)のもの

チャンカイ文化とはペルー中部海岸チャンカイ川流域に栄えた文化。チャンカイ文化後古典期のあとはインカ帝国が続く。

中央部で奇妙な形をした文様は、鳥を図案化したものである。目を共有して二羽の鳥が向き合っている。その上下に並んだ鳥は、色の異なる各パネルに一羽ずつ、かわいらしい姿で織り込まれ、楽しい雰囲気醸しだしている。

赤と黄を基調に、こげ茶、黄土、白、ピンクなどがバランスよく配された、まことに美しい綴織であり、本学教養学部のアンデス調査隊の手によって購入されたものである。

GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

**[駒場]2002**  
SUPPLEMENT



東京大学大学院総合文化研究科  
東京大学教養学部

# [駒場] 2002 SUPPLEMENT

## 東京大学大学院 総合文化研究科 東京大学教養学部

### ●目次

まえがき	7
I 2002年度における大学院総合文化研究科・教養学部	
1 研究科長・学部長の交代にあたって	11
2 21世紀COEプログラム「融合科学創成ステーション」	13
3 21世紀COEプログラム「共生のための国際哲学交流センター」	17
4 「韓国朝鮮地域文化研究コース」の発足	20
5 UTフォーラム「東アジアにおける公共知の創出」の開催	22
6 21世紀「ヨーロッパ」の理念：政治思想の未来	25
7 アメリカ太平洋地域研究センターの活動	28
8 東アジア四大学フォーラムの活動	31
9 シンポジウム「言語態とは何か」	34
10 シンポジウム「行動する身体と心」	36
11 文化功労者顕彰記念講演会	40
12 大学評価・学位授与機構による教育・研究評価	42
13 高大連携の推進	49
14 副学部長制の導入	53
15 駒場図書館の紹介	54
16 アドバンスリサーチ・ラボラトリーの新営	59
17 2002年度の施設・環境整備の概要	62

## II 大学院総合文化研究科・教養学部では、誰がどのような教育・研究を行っているか

凡例	66
教官の経歴と業績	
専任教官	68
客員教官	77

### 付属資料1

2002(平成14)年度志願,合格,入学状況	82	2003(平成15)年度進学内定者数	83
定員の推移	84	2002(平成14)年度のクラス編成表	85
研究生	87	留学生	88

### 付属資料2

シンポジウム	90	講演会	95
学外からの評価	97	2002(平成14)年度科学研究費補助金	98
2002(平成14)年度奨学寄附金	110	2002(平成14)年度受託研究	113
2002(平成14)年度共同研究	115	2002(平成14)年度の役職者	116
キャンパス配置図	118		